

年末安全パトロールの記事が掲載されました

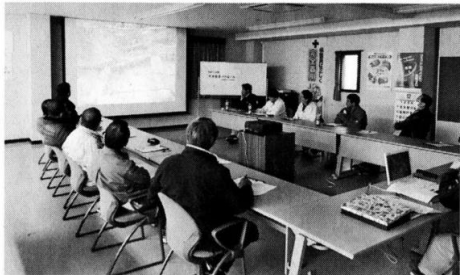
群馬建設新聞

2014年(平成26年)12月18日(木曜日)

(2)



点検項目に沿って施工現場をチェック(沼田市利根町)



写真を見ながら講評した

この年末安全パトロールは事故の未然防止と会員相互の技術力向上が目的。



設楽幹事長

昨年(平成25年)に続いて3回目となる本年度の年末安全パトロールは、12月16日(日)、県内4カ所の工事現場を対象に年末安全パトロールを実施した。

全国特定法面保護協会(設楽雅之幹事長)の安全委員会(高橋範行委員長)は16日、県内4カ所の工事現場を対象に年末安全パトロールを実施した。



高橋委員長

昨年に続いて3回目となる本年度の年末安全パトロールは、12月16日(日)、県内4カ所の工事現場を対象に年末安全パトロールを実施した。

年末安全パトロール実施

全国特定法面保護協会群馬県支部安全委員会

16人が現場チェック

高橋委員長は「昔に比べると、整理整頓や書類の保管状況などは、かなり改善されているが、まだまだ指摘する部分もあった。それ以上に良い点も多く、創意工夫や努力を費やしている部分が見受けられた。今回の結果を会社へ持ち帰り、さらなるレベルアップにつなげてほしい」と呼びかけた。

高橋委員長は「昔に比べると、整理整頓や書類の保管状況などは、かなり改善されているが、まだまだ指摘する部分もあった。それ以上に良い点も多く、創意工夫や努力を費やしている部分が見受けられた。今回の結果を会社へ持ち帰り、さらなるレベルアップにつなげてほしい」と呼びかけた。

高橋委員長は「昔に比べると、整理整頓や書類の保管状況などは、かなり改善されているが、まだまだ指摘する部分もあった。それ以上に良い点も多く、創意工夫や努力を費やしている部分が見受けられた。今回の結果を会社へ持ち帰り、さらなるレベルアップにつなげてほしい」と呼びかけた。

あり、引き続き、協会を挙げて事故防止の徹底に取り組んでいきたい」と本紙の取材に回答した。県部会では、今回のパトロールの結果を県発注機関へ報告することも、独自に作成した安全に対する啓蒙カードを配布。行政側へ継続した安全衛生管理の徹底を誓った。

なお、啓蒙カードには会員各社より募った54件の中から最優秀賞と優秀賞に選ばれた6つの労働災害防止スローガンが掲げられており、最優秀賞には「危険・安全 紙一重 不安になったら まず点検」が輝いた。

全国特定法面保護協会は、特定法面保護工に関する調査や研究・開発、技術者の養成などを行っている。県部会の事務局長は渋川市の高特に設置されている。

弊社の社員も参加した、「年末安全パトロール」の記事が群馬建設新聞に掲載されました。

